

2025 年度事業計画について

2025年 4 月 1 日から

2026 年 3 月 31 日まで

公益財団法人

九 電 み ら い 財 団

2025 度は、環境事業として「環境保全活動」、「植林活動」、「環境教育活動」及び「次世代向け環境活動支援」を行うほか、奨学金事業として「奨学金の給付」を実施する。

I 環境事業

1 坊ガツル湿原一帯における環境保全活動

- 坊ガツル湿原（大分県竹田市）一帯において、ラムサール条約で求められている「保全」と「活用」の観点から活動を実施
 - ・ 保全面では、坊ガツル湿原の保全およびその一帯に生息する希少植物保護のため、環境省、自治体及び地元団体等とともに、湿原の野焼きや希少植物の保護、また、平治岳においては、ミヤマキリシマ植生保護及び登山道整備等の活動を実施
 - ・ 活用面では、平治岳のミヤマキリシマの観光資源化を目指し、開花範囲の拡大に向けた北側斜面支障木伐採を継続実施

(1) 坊ガツル湿原野焼き活動

- 当財団と地域の方々等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団）」にて、実施時期や活動参加者等を決定（7月、翌年1月）

活 動	内 容	時 期	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼防止のための防火帯づくり	8 月	各 140 名 程度
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように刈った草を集め焼き払う	9 月	
本焼き	・ 防火帯の内側に火を入れ、湿原一帯を焼く ・ 野焼き活動の認知拡大に繋がる現地勉強会実施	翌年 3 月	140 名程度 30 名程度

- リーダーの技術力を継承し、リーダーの高齢化・固定化により野焼き活動が再び途絶えることがないように、リーダー養成研修を実施（20名）
 - ・ 本活動における現リーダー・サブリーダーの実技指導（OJT）により後継者育成を実施

※講義・実技研修は 2024 年度実施済み

活 動	実技指導（OJT）
輪地切り	8 月
輪地焼き	9 月
本焼き	翌年 3 月

(2) 坊ガツル湿原希少植物保護活動

内 容	時 期	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来植物を除去	7 月	100 名程度

(3) 平治岳ミヤマキリシマ植生保護および登山道整備活動

エリア	内 容	時 期	参加者
南側斜面	かん木（ミヤマキリシマの育成に支障となる低木）等を除去するとともに老朽化している登山道を整備	4 月、 11 月	各 100 名 程度
北側斜面	かん木等を除去 ※急峻であるため委託で実施	11 月～ 翌年 3 月	委託

2 九電みらいの森プロジェクト（植林活動）

- 環境教育や市民交流の拠点となる森づくりを目指して、地域と協働で植林等に取り組みながらカーボンニュートラルを推進
 - ・ 子どもたちや地域の方々と協働で森づくりに取り組むとともに、植林等の体験を通じた子どもたちへの環境教育を実施
 - ・ 北部エリアの候補地について、自治体や関係者との協定締結に向けた協議や、候補地の特性を活かしたフィールド設計ほか、新たな拠点整備を着実に実施

(1) 「きりしま九電みらいの森」（鹿児島県霧島市）での活動

- 委託によるフィールド整備の継続とボランティア等による地域と一体となった森づくり活動を実施

内 容	時 期	参加者
広葉樹の植林など必要なフィールド整備を継続するとともに、地元の方々や自治体及び九電グループ従業員などによるボランティア活動を通じて、地域と一体となった豊かな森づくりを推進	10 月	100 名程度

- 地域の憩いの場としての活用促進に向けた環境イベント等の実施

内 容	時 期	備考
九電グループや地域団体との連携による体験型の環境イベント等を開催し、地域の憩いの場としての認知拡大とフィールドの活用を促進	6 月	100 名程度

(2) 「いさはや九電みらいの森」(長崎県諫早市)での活動

- 植林した苗木の成長促進のため、下草刈り等の育林活動を実施

内 容	時 期	備考
植林した苗木の成長を助けるため、下草刈を実施 ※植林地が急峻であるため委託で実施	10 月	委託
地域の方々や自治体・団体、九電グループ従業員を対象にボランティアを募集し、除草・ツル切り等育林活動を実施	6 月	60 名程度

(3) 北部エリアでの活動

- 候補地が位置する自治体及び九電グループ等と連携し、地元関係者への事業説明や整備に関する各種法規制への対応等を確認の上、着実な対応を実施
- 地域の憩いの場に加えて九電グループ各社も活用が可能となるようなフィールド設計を検討するとともに、関係自治体等との協定締結などの調整を実施

3 環境教育活動

- 次世代の環境保全意識啓発のため、森での「現地環境教育」とVR(ヴァーチャルリアリティ)等のデジタル技術を活用した出前型「デジタル環境教育」を委託実施
 - ・ 現地環境教育は、「くじゅう九電の森」(大分県由布市)、「いさはや九電みらいの森」、「きりしま九電みらいの森」にて、地球温暖化の現状(カーボンニュートラルを含む)や森林が持つ役割(CO₂抑制効果・生物多様性保全機能・水源涵養機能等)を説明する講話と、森林散策や各々の森の特性を活かした体験学習を実施
 - ・ デジタル環境教育は、地球温暖化の現状や森の役割の講話と、VRやCG等のデジタル技術を活用したコンテンツを用いて、間伐の疑似体験を実施
- 各教育の実施にあたっては、当財団HPやSNSでの告知、各自治体の教育委員会・各学校への案内等により募集
- 企業や自治体、助成先を含む他団体が主催する次世代向けイベントにも出展し、教育機会を拡大

[現地環境教育]

対 象		場 所	教育内容	回数	時 期	参加者数
学校向け	九州全域の小学生	くじゅう	講話、散策、間伐	7回	5、9、10月	490名程度
		いさはや	講話、散策、下草刈り、観察	11回	6、11月	550名程度
		きりしま	講話、散策、植林、保全整備	6回	6、10月	240名程度
親子向け	九州全域の小学生とその保護者	くじゅう	講話、散策、間伐、木工	3回	5月	150名程度
		いさはや	講話、ネイチャーゲーム、観察	1回	10月	100名程度
		きりしま	講話、植林体験、ブース体験	1回	6月	100名程度

[デジタル環境教育]

対 象	場 所	教育内容	回数	時 期	参加者数
九州全域の小学生	主に学校	講話、VR間伐	50回	通年	1,500名程度

4 次世代向けの環境活動支援

- 非営利団体が取り組む環境分野の次世代育成活動を対象に、公募により助成を実施

(1) 2025年度助成事業の対象団体決定及び連携

- 応募があった73団体のうち、有識者への意見照会を経て選考した20団体に助成を実施
- 助成先の団体を広報面でも支援するため、活動の内容を財団SNSで紹介

(2) 2026年度助成事業の募集

- 応募数の維持・拡大に向け、財団ホームページやSNS等を通じて募集し、外部アドバイザーへの意見照会を経て助成団体を決定

Ⅱ 奨学金事業

1 奨学金の給付

- 現行の奨学生に対する給付を実施

(1) 給付対象

私費留学生（九州工業大学）

(2) 奨学金給与の額及び期間

給与額：月額 2 万円/人、年額 22 万円/人（8 月は支給なし）

期 間：正規の修学期間を終了するときまでの最短期間

(3) 2025 年度奨学生数及び給与総額

奨学生 1 名、22 万円/年

Ⅲ 財団運営

九電みらい財団の「目指す姿」実現に向け、九電グループや地域との連携により、地域・社会との信頼関係構築の取組みを展開し、地域・社会との接点拡大に努める。

また、2026 年度に迎える設立 10 周年（2026 年 5 月 12 日）に向け、財団の認知向上につながる情報発信を継続するとともに、新たな施策や連携先について検討・実施する。

1 情報発信

- 財団の認知向上を目的として、財団が保有するメディアを活用し、機会を捉えた情報発信を実施
 - ・ ホームページ、Facebook、Instagram、YouTube 等を活用し、活動の告知や報告を適宜発信するほか、SNS フォロワー獲得状況も踏まえた情報発信を実施
 - ・ Instagram を活用したフォトコンテストを 1 回実施。また、入選作品等をパネル化し、財団内外のイベントで展示するほか、カレンダー等に活用
- マスメディアを活用した情報発信を協働先と連携して実施
 - ・ 財団活動時は、新聞社やテレビ局等の報道機関に対し取材案内を実施
 - ・ 環境事業の協働先や助成先が活動を行う際、財団名の記載や財団ロゴを掲載した情報発信を要請
- 財団設立 10 周年（2026 年 5 月 12 日）の機運を高めるために、公式キャラクターや活動動画を製作

〔参考〕2025 年度活動スケジュール

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
環境活動	環境保全	ミヤマキリシマ 植生保護 ★			希少植物 保護 ★	坊ガツル 輪地切り ★	坊ガツル 輪地焼き ★		ミヤマキリシマ 植生保護 ★				坊ガツル 本焼き ★
	植 林	整備デザイン・協定締結準備 (北部エリア)						フィールド設計/整備準備 (北部エリア)					
	環境教育 (現地)	学校向け (くじゅう)		学校向け (いさはや)			学校向け (くじゅう)		学校向け (いさはや)				★ 親子向け (くじゅう)
		★ 親子向け (くじゅう)		★ 親子向け (きりしま)			★ 親子向け (きりしま)		★ 親子向け (いさはや)				
	環境教育 (デジタル)	学校向け											
次世代育成 支援活動		助成先贈呈式	助成先団体の情報発信協力						2026 年度 助成先募集		2026 年度 助成先選考		助成先 決定 ★
奨学金事業		奨学金の給付 ※8 月を除く											
情報発信		ホームページ、SNS、メディア等を通じた発信、フォトコンテストパネル展示など											

以 上